

[はじめに]幕府方と薩長方で勝敗を争う。[駒]白が幕府方、黒が薩長方、灰は中立藩である。数値は、左下が戦術値、右下が行動値である。[地図]拠点マス、小川ごえ、大河渡河点が有効地形である(攻撃に影響、後述)。[初期配置]幕府方が、3つの配置エリア(いろ・は)から任意の2つを選び、伏見奉行所および淀城を加えた8マスに無作為に全駒を配置する。次に薩長方は東福寺から5マス以内の任意のマスに全駒を配置。[終了条件]全ての拠点マスを片方が支配(最後に移動通過)した時点で終了。ゲーム開始時、男山・淀城・中書島・伏見奉行所が幕府方、残りは薩長方支配。[手順]初手番は薩長方。自手番では、プレイヤーは移動・攻撃・回復の3つの行動から1つを選んで実行する。[移動]自分駒を1つ選び行動値分のマスを移動できる。いかなる場合も他の駒が存在するマスには移動できない。相手駒に隣接した場合ただちに停止する。相手駒に隣接した状態から移動を開始するとき、相手駒に隣接した状態となるマスには直接は移動できない。渡河点以外では大河を渡ることはできない。渡河点以外の大河では隣接していないと考える(他ルールでも同じ)。[攻撃]1つの自分駒を選び、隣接する1つの相手駒を攻撃できる。両駒の戦術値を比較する。相手駒に隣接している自分駒の数だけ戦術値が上昇する(支援)。攻撃された駒の戦術値は有効地形の分だけ戦術値が上昇する(地形)。戦術値が高い駒は差分の回数だけ先制射撃を行う。先制射撃の結果適用後、両駒が通常射撃を同時に行う。射撃はダイスを1個ふり、行動値以下なら相手駒を除去できる(例外：表の幕府歩兵駒は、除去されずに裏返される)。攻撃した側が相手駒を除去した場合、攻撃した駒は除去した駒のいたマスに移動できる。[回復]ダイスを1個ふり、支配している拠点マス数以下なら、除去された駒から1つを選び、自分支配拠点マスに裏で配置することができる(例外：幕府歩兵駒は回復できない)。[増援]支配する拠点マスが5つになったとき、未使用の中立藩駒(がもしあれば)から無作為に1つを選び、自分の駒として回復と同じ要領で(表で)配置できる。6つ、7つになったときも同様の手順を行う。(例外：津藩駒は山崎に配置する。津藩駒が登場まで山崎マスにはどの駒も移動できない)

土	津	因
3 ▲ 1	2 ▲ 1	2 ▲ 1



薩	薩	長	
3 ▲ 1	3 ▲ 1	3 ▲ 1	
幕	幕	幕	會
3 ▲ 1	3 ▲ 1	3 ▲ 1	2 ▲ 1
安福	男山	中書	桑
4 ▲ 1	0 ▲ 2	0 ▲ 2	2 ▲ 1

